

2024年度全国地理学専攻学生「卒業論文発表大会」プログラム(主催:日本地理教育学会)

日時:2025年3月16日(日)9:30-15:47

ZOOMによるオンライン開催

*持ち時間は1人18分(めやす:発表13分, 質疑応答4分, 交替1分)

第1会場

時間	番号	氏名	ふりがな	所属	タイトル
9:30-	101	平嶋 麟太郎	ひらしま りんたろう	奈良大学・文学部	和歌山県における“里海”と藻場の状況—UAVを用いた分布調査の可能性—
9:48-	102	三好 啓太	みよし けいた	筑波大学・生命環境学群	東京都北東部の台地-低地境界部における地下水流动
10:06-	103	田代 豪	たしろ つとむ	法政大学・文学部・通教	佐賀平野におけるクリークを中心とした水質に関する水文地理学的研究
10:24-	104	木嶋 陸駆	きじま りく	日本大学・文理学部	中部日本夏季晴天日における対流性降水の地域的特徴

休み(10:42~10:47)

10:47-	105	西村 和真	にしむら かずま	奈良教育大学・教育学部	気候学習用WebGISの条件とその開発—小中高を一貫した気候学習の提案から—
11:05-	106	牧 大智	まき だいち	鹿児島大学・法文学部	コゲスギランの種分布モデルに基づく最終氷期最盛期以降の森林限界の変化
11:23-	107	小山 紗奈	こやま さな	国士館大学・文学部	松本盆地南部付近における常緑広葉樹の分布・生態とその要因—とくにシラカシに着目して—

昼休み(11:41~13:00)

13:00-	108	太田 麻渚	おおた まな	明星大学・教育学部	赤城山南麓地域におけるかしげねの分布とその構成樹種
13:18-	109	芳賀 蓮	はが れん	国士館大学・文学部	千葉県富津岬における海岸林の樹種構成と生育状況—とくに海岸からの距離と樹形および風速に着目して—
13:36-	110	小池 青	こいけ せい	法政大学・文学部	海浜植生の群落構造に及ぼす土壤硬度の影響—湘南地域を事例に—
13:54-	111	段上 清香	だんじょう さやか	東京都立大学・都市環境学部	圭崎岩屑なだれの規模と流れ山の特徴
14:12- 14:30	112	重永 明輝	しげなが はるき	専修大学・文学部	神奈川県照ヶ崎海岸を利用するアオバトの環境選択性

休み(14:30~14:35)

14:35-	113	片山 雄介	かたやま ゆうすけ	専修大学・文学部	密集市街地における地震災害時の新たな避難経路・避難先の検討と避難困難区域の抽出—東京都荒川区町屋4丁目を事例に—
14:53-	114	小原 大	おばら だい	駒澤大学・文学部	ジオパークを活用したふるさと教育—長崎県島原市の学校教育を例に—
15:11-	115	小林 和瑚	こばやし わこ	筑波大学・生命環境学群	谷川岳エコツーリズムが持つ課題—エコツアーと環境学習・学校旅行に着目して—
15:29- 15:47	116	児玉 尚汰	こだま しょうた	駒澤大学・文学部	岩手県大槌町における災害弱者の行動分析—東南アジア系外国人労働者を事例に—

第2会場

時間	番号	氏名	ふりがな	所属	タイトル
9:30-	201	菱川 雄太	ひしかわ ゆうた	愛知大学・文学部	日本の主要都市の位置認知—高校生へのアンケート調査を通して—
9:48-	202	松岡 優輝	まつおか ゆうき	奈良教育大学・教育学部	通信制課程を有する高等学校の生徒が学校周辺にもつ空間認識—生活者の視点を重視した手描き地図調査から—
10:06-	203	西村 尊	にしむら たける	文教大学・教育学部	現代における歴史的遺跡の価値と可能性—加曽利貝塚を例に—
10:24-	204	下麥 鳩	しもむぎ はやと	國學院大學・文学部	近世における都市景観図の形成とその展開—「若松城下絵図」を題材として—

休み(10:42~10:47)

10:47-	205	足立 月渉	あだち つきほ	立命館大学・文学部	京都市八坂通りにおける「インスタ映え空間」の形成—地域・近隣・外部の異なる主体による観光地化の分析—
11:05-	206	岡 亮友	おか りょうすけ	日本大学・経済学部	福島県檜枝岐村における帰村者のUターン要因
11:23-	207	御苑 圭太	みその けいた	立正大学・地球環境科学部	千葉県における廃校利活用の地域的特徴と地域活性化の可能性

昼休み(11:41~13:00)

13:00-	208	小森 皓太	こもり こうた	近畿大学・総合社会学部	交通の変化が地域や他都市との関係に与える変化
13:18-	209	栗城 亮大	くりき りょうた	東京都立大学・都市環境学部	大都市圏郊外における新たな公共交通としての都市型シェアサイクルの有効性と課題
13:36-	210	二俣 陽香	ふたまた はるか	お茶の水女子大学・文教育学部	東池袋地区の変遷とオタク文化
13:54-	211	牧野 壮馬	まきの そうま	立正大学・地球環境科学部	富山県富山市・射水市吳羽梨栽培地域における直売を通じた農家の経営戦略とその変容
14:12- 14:30	212	水村 望	みずむら のぞみ	日本大学・経済学部	神奈川県小田原市における有機農業の実態と存立要因

休み(14:30~14:35)

14:35-	213	河東 佑奈	かとう ゆうな	横浜国立大学・教育学部	現代における昆虫食の消費の意味
14:53-	214	澤田 遥	さわだ はるか	立命館大学・文学部	開港都市神戸における領事館の立地変動
15:11-	215	里信 秀亮	さとのぶ しゅうすけ	近畿大学・総合社会学部	GISを用いた福山駅周辺の変遷分析
15:29- 15:47	216	篠田 樹穂	しのだ なお	早稲田大学・教育学部	1990年代以降における東京都江東区有明北地区の開発と政治

第3会場

時間	番号	氏名	ふりがな	所属	タイトル
9:30-	301	姉崎 達	あねざき たつる	法政大学・文学部・通教	島嶼地域へのライフスタイル移住プロセス—屋久島におけるM-GTAによる分析—
9:48-	302	後谷 勇太	うしろだに ゆうた	東京学芸大・教育学部	栃木県那須塩原市におけるライフスタイル移住と移住後の生活
10:06-	303	野々村 郁実	ののむら いくみ	神戸大学・文学部	地域における歴史的環境の保全と複合的な「活用」—滋賀県近江八幡市旧市街の町並み保存を通じたまちづくりを事例に—
10:24-	304	佐藤 晴太	さとう はるた	新潟大学・教育学部	新潟県小千谷市における民俗芸能の継承—担い手の意識・思いに着目して—

休み(10:42~10:47)

10:47-	305	永嶋 英俊	ながしま ひでとし	明治大学・文学部	新潟県と栃木県におけるサメ食文化の広がりと継承
11:05-	306	上村 寛人	うえむら ひろと	愛知大学・文学部	豊橋市福岡校区における路傍の小祠
11:23-	307	笹本 康平	ささもと こうへい	法政大学・文学部	外国人労働市場における外国人属性の多様化—岐阜県美濃加茂市を事例に—

昼休み(11:41~13:00)

13:00-	308	小山 杏奈	おやま あんな	筑波大学・人文・文化学群	商店街「アメ横」における機能変化—エスニックビジネスに着目して—
13:18-	309	舞木 英人	もうぎ えいと	鹿児島大学・法文学部	地方中心商店街における立体的構造変化と内的要因—鹿児島市天文館中町ベルク商店街・納屋通り商店街を事例に—
13:36-	310	脇 謙太郎	わき けんたろう	東京学芸大学・教育学部	千葉県流山市流山おおたかの森地区におけるマンション居住世帯の居住地選択過程と永住意識
13:54-	311	佐藤 耕輔	さとう こうすけ	奈良大学・文学部	木更津市における中心市街地衰退問題と郊外化
14:12- 14:30	312	村松 晟	むらまつ せい	明治大学・文学部	過疎地域における簡易郵便局運営の実態

休み(14:30~14:35)

14:35-	313	羽根 環希	はね たまき	神戸大学・文学部	中山間地域の拠点を中心とした地域イノベーション・システム—道の駅「丹波おばあちゃんの里」を事例に—
14:53-	314	高木 麻帆	たかぎ まほ	奈良女子大学・文学部	奈良盆地における集団的農地利用・水利慣行の存続要因—桜井市の一農業集落を事例に—
15:11-	315	相場 昇磨	あいば しょうま	横浜国立大学・教育学部	新潟県弥彦村における枝豆栽培の変遷と役場主導の枝豆振興のゆくえ
15:29- 15:47	316	船ヶ山 悠斗	ふながやま ゆうと	新潟大学・教育学部	食文化の商品化の展開プロセス—宮城県仙台市のずんだを事例に—